

## 「科学的根拠に基づいた総義歯治療」

諏訪歯科医院 院長 諏訪兼治先生

医療とは総てに於いて科学的な根拠が必要です。総義歯作製に於いても根拠が無ければ医療ではなく匠による芸術品なのです。

しかし、我々が扱っている総義歯とはすべての歯牙を喪失したヒトに、人工的に作製した補綴物を入れ、有歯顎の時と同等か同等に近い口腔諸機能を回復させ、日常生活に支障をきたさないようにする為の医療行為であります。

医療行為とは、常にバラツキの無い一定の規格品を提供できることが必要です。その為には義歯を作製する科学的根拠が必要になります。総義歯作製に於いて印象と咬合は双壁をなし、どちらがだめでも良い義歯を作製することはできません。印象には印象のロジックが、咬合には咬合のロジックがあり、その両方を得たときにはじめて患者さんが喜ぶ義歯が完成されます。

今回の講演で義歯における基本的ロジックを理解され、常に安定した義歯作製のお役に立てれば幸いです。

---

### 略歴

昭和54年3月 岐阜歯科大学卒業  
昭和55年 大阪市にて開業 (諏訪歯科医院)  
朝日大学臨床歯科研究所非常勤講師  
現在に至る

### 文献：

総義歯のパラダイムシフト	補綴臨床 Vol. 33, No. 1, 医歯薬出版、東京、2000
システムチック総義歯印象法	補綴臨床 Vol. 33, No. 2~No. 6 医歯薬出版、東京、2000
総義歯へのアプローチ	歯科技工 Vol. 25, No. 6~No. 7 医歯薬出版、東京、2000
残存歯と粘膜の複合した部分床義歯の変形防止	補綴臨床 Vol. 34, No. 2、医歯薬出版、東京、2000